

公益社団法人 守山青年会議所  
2017 年度 第 9 回理事会  
議事録

日時 2017 年 5 月 8 日（月） 20：00～21：12

場所 JC ルーム 2 階

出席者

役職	氏名
理事長	藤本 進矢
直前理事長	三品 知寛
副理事長	西田 裕美
副理事長	南出 誠
会員拡大室 室長	尾瀬 正行
理事	太田 智真
理事	荒山 和也
理事	酒井 暁隆
理事	池田 晋一郎
理事	田中 聡一郎
監事	新谷 文孝
監事	間宮 良仁

遅刻	荒山理事
欠席	なし

1.開会 高岡事務局長

2.JCI クリード唱和 酒井理事

3.JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 田中理事

4.JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 池田理事

5.理事長挨拶 藤本理事長

みなさま、こんばんは。本日も定刻よりお集まりいただきまして誠にありがとうございます。そして、4 月におきましては、4LOM 合同例会を設営いただきました太田委員長をはじめとする会員拡大委員会のみなさま、ありがとうございました。そして本日におきましても新入会員として八幡君を迎えられますことを、改めてお礼申しあげます。

本日の理事会開催を迎えるにあたりまして、私いろいろと考えて挨拶をしようと思っていたのですが、そんな中、その挨拶自体本日は考えていたことと別のことをお話ししようと思います。本来であれば、まず会員拡大のことをお話しさせていただくのですが、今更しゃべらなくてもおそらく私の気持ちはみなさまに知っていたいていることと思います。それよりも、今私がなぜこの場に立っているか、なぜ本年理事長をさせていただいているのかをお話しさせていただければと思います。

私が入会したのは 2009 年の時でした。そのとき私のもとに会員拡大で来られたのは川崎忠司さんという、今は守山 J C にはおられません、いろいろなところでご活躍されている方です。その年に、本日来られております新谷監事の委員会に配属しておりまして、一年間過ごさせていただきました。次の年に理事会セクレタリーをさせていただきました。本年で言いますと、奥野君の立場になります。一年間理事会を拝見させていただき、守山 J C とはこういう所かというのを、理事の目線ではないですが、理事会に参加させていただいて、この場で話し合ったことから青年会議所が成り立っているんだなと改めて感じました。その次の年には副委員長をさせていただきました。佐藤理恵さん、今はこの守山青年会議所にはおられません、佐藤さんが委員長の時に副委員長をさせていただき、社会開発の委員会に配属していました。その際に、正副委員長とも結婚をしておらず、社会開発事業の委員会を持つというのは稀であるということをお聞かせいただきました。「子どもがいない委員長・副委員長に社会開発事業が務まるのか」という声もいただきましたが、一年間いろいろなことがありながらも副委員長を全うさせていただきました。

そして、その次に請け負った大きな役職としては、委員長でした。財政局長、そして財政規則審議議長を兼任で、総務委員会の委員長を務めました。そこで学ばせていただいたのは、守山青年会議所の財政というのはこういったことで成り立っている、ということです。そして青年会議所運動というのは総務の下支え、そして基本的な財政というのはそこで作られているということを学ばせていただきました。また、ブロック大会の実行委員長も務めさせていただきました。その当時、私自身はブロックの委員会というものがよくわかっておりませんでした。滋賀ブロックに出向させていただいたこともそれまで一度だけでしたし、滋賀ブロックというのがどういったものかということもよくわかっていませんでした。その時に、滋賀ブロックの意味合いと、その上にあります日本青年会議所の意味合いを学ばせていただきました。そして「実行委員長」という役職を経験させていただくことによって、この守山青年会議所が今まで培ってきた歴史や伝統を改めて学ぶことができました。先輩諸兄が築いてこられたこの伝統とこれからの守山のまちづくりを我々が支えていかなければならない、という思いを実感したのがその年であったと思っております。

それからいろいろとあり、理事長という立場を担わせていただくこととなりました。今考えて、なぜこの「理事長」という役職を引き受けたのか、それは入会当初から先輩諸兄から預かってきたいろいろな「オモイ」、そして歴史があったからだと思います。そして守山青年会議所をこれからもなくしてはいけないと感じたからだと思います。委員長をさせていただいた年に私が思ったのは、守山青年会議所の財政はこれからどんどん悪化していくということでした。それは、その当時のメンバー全員が肌で感じていたことだと思います。ただ、実感としては、人が減っていく、それに伴い（入ってくる）お金も減っていく、ただそれだけの認識であったかと思います。そして今年になり、守山青年会議所の財政は実際のところ破綻しています。そして、メンバーの数も本日時点で 25 名まで回復をいたしました、実際は守山青年会議所を運営するには至らない人数かと考えております。

私は 1 年目を新入会員として過ごし、2 年目は理事会セクレタリーとして様々なことを学びました。その次の年には副委員長を担い、そして、初めて委員長という役職を経験しました。ここにいる理事みなさまは、(大変申し訳なくと思いますが) 2 年目、ひいては 1 年目で理事を引き受けていただいた方ばかりです。本来であれば青年会議所は、社会開発活動はもちろん、自己研鑽を積む場であると考えています。私たち守山青年会議所は、確かに社会開発運動をするための団体ですが、本来は青年経済人として、守山の青年としてしっかりとした団体でなければいけないのではないのでしょうか。ちゃんとした順序を踏み、ちゃんとした財政を以て、守山

の地に根差していかなければならないのではないのでしょうか。そんな思いを持って、本年私は理事長を担っております。理事のみなさまは、「守山青年会議所とはどんなところだろう」という思いしかないと思います。それは仕方ないことですが、この一年間で、そしてこの半年で学んでいただいたことを次につなげていただきたいと思います。私たちが持っている「オモイ」は、私たちの中で終わらせるのではなく、次に入られた方に繋いでいただきたいと思います。それは、私がそうであったからです。今年で卒業される方もここにはおられます。来年卒業の方もおられます。しかし、その次に繋げていくために、この理事会や例会、日本青年会議所の事業、近畿地区の事業、滋賀ブロックの事業、そして守山J Cの委員会活動で学んだことを次に伝えていただきたいと思います。

私がこの場に立たせていただいているのは、今この場におられる理事長経験者のみなさまのおかげだと思っております。そして、理事長だけでなくOBのみなさまのおかげであると思っております。次はみなさまが次の世代に伝えてください。理事会の挨拶としてふさわしいかどうかはわかりませんが、本日の理事会における挨拶とさせていただきます。本日もよろしくお願いします。

## 6.直前理事長挨拶

みなさん、改めましてこんばんは。ゴールデンウィークを挟みまして、本来は4日の開催であるところを、日程を変更したにもかかわらず、みなさんこうしてお集まりいただき、誠にありがとうございます。先ほど理事長から非常に熱い気持ちのこもったお話をしていただきましたが、私からは平常通りのお話をさせていただきます。

ゴールデンウィークをみなさん過ごされて中で、どのように過ごされたのかなと思っておりました。私はいつも通りの平常営業ですので、あちこち連れて行けと家族に言われながらそれを尻目に仕事をしていました。地元では祭りがありましたので、消防団の中で警備をしておりましたが、そういった事業に関わる中で普段あまり会うことがなく、接することがない方とお会いすることもできました。「意外とこういうところにも有資格者がいるな」と思いながら私は見ていたのですが、残念ながら出会えませんでした。ただ、「この人いいかも」という当たりだけは見つけることができましたので、接近はしていきたいなと思っております。

そして、4月は4LOM合同例会があり、太田委員長をはじめとする会員拡大委員会のみなさん、ありがとうございました。そしてお疲れさまでした。4LOMを代表してこの例会を主管していただき、また有資格者としてたくさん動員していただき、主管LOMとしての面子もしっかりと保っていただきましたし、そんな機会にさせていただけたのではないかと思います。

このように、4LOM合同例会の成功を成し遂げていただいたんですが、もう5月を迎えております。例年ですと社会開発事業の議案がこの理事会で上程され、議論していく季節かと思っております。その社会開発事業を今年はしない。これは、守山J Cに限らず、青年会議所が社会開発事業を通してまちに様々な影響やインパクトを与えていく、その中でメンバー個々の成長を図る、これが青年会議所の存在意義であると思います。その存在意義である社会開発活動をしなないと決断されて、藤本理事長は2017年度をスタートされました。この社会開発活動をせずに会員拡大一本に絞る、これまでにない大きな変化を持ってこの一年を取り組んでおられます。これだけ大きな変化をすると、いろいろな方向から意見や、色を変えていろんな批判の声もあります。実際にそうなることも藤本理事長は承知の上で大きな変化を決断され、その決意をした時からずっと矢面に立っております。そして現在も矢面に立ってこうしていらっしゃいます。何でこんなことをされているのかは言

わずもがな、みなさんは理事長の思いをくみ取っておられるかと思います。社会開発運動をしっかりとできる体制を整えるために、その先の未来を見据えて、「守山青年会議所がまちづくりをリードしていけるそんな体制であってほしい」、そう願ってこの一年歯を食いしばってこの方針を打ち出されております。ですので、みなさん5月の非常に大事なこの時期、力を合わせて乗り切って、目標達成したうえで進んでいきたいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

そしてこの会員拡大について、当たり前のことですが全メンバー、理事長であろうが、執行部であろうが、直前理事長であろうが、監事であろうが、どの立場であっても全員が取り組むべきものです。この前提はあくまでも変わりません。ただ一つ、忘れてはならないことがあります。青年会議所活動を一年間行っていく中で、やはり主役となる方がいらっしゃいます。それは委員長です。それは事業を牽引する立場であること、例年理事長が所信を書かれ、その中で総務や会員の成長、社会開発、拡大といったいろんな方向の事業を展開したいという思いで所信に認められます。その中で各委員会が運動の一つひとつを担っていただいて、その運動の目標・目的を達成できるように取り組んでいくという流れがあります。理事長は自分で動いてあれこれやりたいという思いもありながら、できないんですね。自分が動くのではなく、委員長をはじめとする委員会メンバーさんがその自分たちで掲げた目標を達成できるように見守り続けなければいけない、そんな立場なんです。社会開発活動を通しての個々の成長のために、青年会議所の存在意義からすると委員会を担う委員長が運動をしていくための普段の活動を、先頭を切ってやっていただく、理事長をはじめとする執行部はその活動がもっとうまくできて、目標達成できるようにサポートしていく。もちろんそのサポートは背中で見せるということも一つですし、お願いをするのも一つですし、様々な方法があります。今この段階において非常に大切なことだと思います。それぞれの立場においてなすべきことに対して徹底的に取り組んでいくことについて、改めて意識を持っていただきたいなと思います。きっとみなさんそれぞれの役職を全うされて見える景色は、自分の立場の担いをやり切ったことでしか見えない景色だと思いますので、是非そこを忘れずに取り組んでいただきたいなと思います。

本日の理事会では報告議案、そしてホストのない例会の議案がメインになっております。いささか寂しい部分は出て来るとは思いますが、この5月の末にみなさんがいい顔をして、そして6月を迎えられるような一月につながるようお願いを申し上げまして、直前の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 7.議長選出

理事長より南出副理事長を指名される

## 8.定足数の確認 高岡事務局長

理事9名中8名の出席です。定款第42条により本理事会は成立いたします。

## 9.オブザーバーの承認 高岡事務局長

本日は会員拡大委員会より小林哲也君が出席されています。  
拍手によって承認

## 10.提出資料の確認 高岡事務局長

### ■提出資料■

- ・報告事項 スケジュール
- ・確認事項 第8回理事会議事録
- ・報告事項 2017年度第14回守山ほたるパーク&ウォーク イベント協力に関する件
- ・報告事項 2017年度「びわこ地球市民の森」のつどい協力に関する件

- ・事業計画書 新入会員入会承認に関する件
- ・2017 年度守山青年会議所組織図
- ・事業計画書 5 月定例会設営に関する件
- ・事業計画書 6 月定例会設営に関する件
- ・事業計画書 7 月定例会設営に関する件

## 11.報告事項

### 理事長

5 月 10 日に守山の地で会員会議所会議が開催されます。オブザーバー参加が可能ですので出席をお願いします。滋賀ブロック協議会での熱い討論が見られるかと思います。また 21 日に水口青年会議所にて周年記念式典が開催されます。こちらは執行部と理事何名かで出席の予定です。そして報告議案でも上程されますが、ほたるパーク&ウォークと地球市民の森が今月末にあります。そちらは準備段階からみなさんにご協力をお願いします。また、6 月 3 日に滋賀ブロック主催の「じゃがいもゴルフコンペ」ございますので、こちらも LOM から何名か参加をお願いします。

## 12.終了時刻の設定 高岡事務局長 21 時 50 分でお願い致します。

## 13.確認事項

### 議長

### 前回議事録確認に関する件

前回議事録として第 8 回臨時理事会議事録が添付されております。何かお気づきの点等ございましたら、本理事会終了までに申し出ていただきますよう、お願いします。

## 14.議事の採択

### 議長

### (報告案件)

議長より報告事項第 3 号その他上程を求められたが、上程がないため第 3 号議案その他が抹消される。

## 15.報告事項

### 第 01 号議案 2017 年度第 14 回守山ほたるパーク&ウォーク イベント協力に関する件

会員拡大委員会 小林君（実行委員） 読み上げ

（質問・意見等なし）

### 第 02 号議案 2017 年度「びわこ地球市民の森」のつどい協力に関する件

会員拡大委員会 酒井君（実行委員） 読み上げ

議長 前日準備の予定が未定となっているが、決まっているのか。

酒井君 守山 J C の前日準備の担当はありません。

議長 では、議案の前日準備の「未定」と記載を削除してください。ちなみに実行委員会では前日準備はどのようなになっているのか。

酒井君 確認しましたが、守山 J C の前日準備については特に言われておらず、当日の担当の所に直接行ってくればよいとのこと。

議長 議案では未定となっているので、実行委員会事務局に念のため前日準備に行く必要があるのか確認をしておいてほしい。毎年前日準備のことが記載されていないが、準備には行っているの。準備が必要であればまたメンバーに連絡してほしい。

酒井君 そのようにします。

## 16.議案の採択 議長

(審議案件)

議長より審議事項第 5 号議案その他上程を求められたが、上程がないため第 5 号議案その他が抹消される。

## 17.審議事項

### 第 01 号議案 新入会員入会承認に関する件

会員拡大委員会 太田委員長

読み上げ (1 名の新入会員の入会申込書回覧)

新入会員選考委員会 高岡事務局長代理

特に選考にあたって問題なしのため、入会を承認します。

(質問・意見等なし)

採決

全員の拍手をもって承認される。

(ここで、荒山理事が遅参されたため、定足数 9 名中 9 名の出席に変更)

### 第 02 号議案 新入会員委員会配属に関する件

高岡事務局長

読み上げ

採決

全員の拍手をもって承認される。

### 第 03 号議案 5 月定例会設営に関する件

会員拡大委員会 田中副委員長

読み上げ

今回も拡大タイムを設け、中間目標達成に向けての意思統一を図ります。

議長

参加員数計画を、本日新入会員 1 名が承認されたため 25 名に変更をお願いしたい。

採決

全員の挙手にて承認される。

### 第 04 号議案 6 月定例会設営に関する件

会員拡大委員会 荒山副委員長

読み上げ

拡大タイムを設け、一年間の折り返し地点として、半期を振り返るとともに、下半期の活動に対して全メンバーで方向性を

確認する。その際にメンバーのグループ分けを行い、グループで 1 名以上の入会を実現を目指す。

議長

こちらの議案も参加員数計画を、25 名に変更をお願いしたい。

採決

全員の挙手にて承認される。

## 18.議案の採択

(協議事項)

議長より協議事項第 3 号議案その他上程を求められたが、上程がないため第 2 号議案その他が抹消される。

## 19.協議事項

### 第 01 号議案 7 月定例会設営に関する件

会員拡大委員会 田中副委員長

読み上げ

7 月例会でも拡大タイムを設け、6 月例会でのグループ分けを基に、拡大リストの作成を行う。

荒山理事

拡大タイムでは「グループで新たに拡大リストの作成を行う」とあるが、7月に拡大リストを作成する意味を教えてください。

田中副委員長

これまで個々のメンバーより拡大対象者が報告され、リストとしましたが、それだけでは上げきれていない対象者もいるのではないかとということでグループに分けて拡大活動を行うことで新たに個人戦では見つけきれなかった対象者をリストアップします。例えば、その会社に対象者となりそうな方がいるのではないかとという情報共有をしながら、アプローチを図るなど、連携した活動を行うことができます。

そういったことを目的とした拡大タイムを考えています。

議長

今の田中副委員長の発言は、6月から7月にかけて拡大リストを更新するという意味か。

田中副委員長

そうです。

## 20.議長退席

## 21.委員会報告

会員拡大委員会 太田委員長

まずは、4月合同例会へのご参加、また様々な形でご協力いただきありがとうございました。いろいろ至らないところもありましたが、無事に終えることができました。今後の拡大に向けて繋がるように委員会で動いていきたいと思います。

また、拡大活動としては、4月末の拡大説明会については告知が不十分であったこともあり、開催することができませんでした。その辺りも含め、活動が停滞してしまったことは申し訳なく思っています。それを踏まえまして、当初より掲げております中間目標の期限が迫っていることもあり、残された日は少ないですが、これまでの活動やみなさんの人脈を生かせば必ず達成できると信じていますし、私もそれに向けてしっかりと活動していく所存です。みなさまのお力添えをよろしくお願いいたします。5名という簡単な数字ではありませんが、1名、2名と積み重ねていけば必ず達成できます。ここに来てこそ深刻にとらず、「ご縁を大切にという」委員会のスローガンが生きて来るかと思しますので、まずはこの5月の拡大活動を、新たな出会いから仲間を見つけるという大事な活動となりますので、それぞれの出会いを大切にして、必ず達成いたしますのでみなさんよろしくお願いいたします。

今月は4月26日に拡大説明会があります。こちらは今週中に作成してデータ配布する予定です。

会員拡大委員会 田中副委員長

次回第10回の理事会において、「もりやま夏祭りの」報告議案を上程します。ここにオブザーバーとしておられる会員拡大委員会の小林哲也君を中心として企画しておりますが、上程に際して、いいものにできるようにみなさまのご協力、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

## 22.監事総評

## 新谷監事

---

みなさん、こんばんは。連休中はどのようにお過ごしでしたでしょうか。私は地元でお祭りがありまして、もう何十年も続く馬路石邊神社のお祭りで、吉身学区のお祭りです。地元が一緒の奥野君とは祭りで会いましたし、荒山理事に至っては、警備で走り回っておられました。J CのOBさんも警備等で関わっていただいてみんなで楽しく参加していたんですが、私もJ C現役の時によく先輩から言われたのは、「J Cの活動も大事だけれども、そういった地元の行事やそういったものを大事するのは大前提だよ」ということでした。「J Cの活動の中で守山を語る。じゃあ、実際自分が地元になにかかわっているかということもよく考えるんだよ」ということを言われました。私は純粋に楽しいので毎年地元の行事に参加していますが、まちとの関わりというのはいろんな自分の身の回りにございますので、そういったものを大切にさせていただけたらなと思います。

冒頭のあいさつで、理事長には素敵な挨拶をしていただきました。いろんな方がおられますけれども、今日の理事長のお話はもっといろんな人に聞いてもらいたいというのが私の本心でした。理事長のご挨拶の中に、J Cの目的というか、本質もたいなものをお話しされている部分がありまして、一つはまちづくり活動というものと、もう一つは自分自身を成長させるもの、自己成長、啓発ということをおっしゃっていました。自己の研鑽の方ですが、なぜ大事なのかとよく考えていたのですが、みなさんは特にそうであると思いますが、それぞれの仕事や立場で何を求められるのかというと、一番は「判断」なんですね。みなさんそうやって判断をする立場です。J Cの中でいろんな役職や役割の中で、良いか悪いかをどう判断するかというのがみなさんの立場であって、力なのかと思います。では、どうやって判断していくのかというと、これは経験と知恵に頼るしかないんですね。経験は自分が触れたものしか経験できないですが、知恵というのはいろんな人と触れる、どれだけ自分の違う考えとどれだけ触れてきたかということが自分の知恵になるのかなと私は思います。このJ Cの議論や、もちろん今まで関わってきたものと全く違う手法や環境に出会うと思います。自分が今まで触れてこなかったことに対して謙虚に、真面目に向き合うということが、一番知恵がつくところだと思います。自分とは違うものの考え方とか、そういったものとかを、排除とまでは言わないですが雑にするのではなくて、そこに自分の身を投じて、その中で得られるものというのが自分にとって尊いものなのかなと感じます。J Cの中にもそういったエッセンスがありますので、もちろんこの理事会もそうですし、あとは滋賀ブロックといったような、外へ出て行った時にまた違う何かに出会うというのはJ Cの良いところ、醍醐味であると思いますので、それを身につけていただくことでどういうふうに判断するかということができるようになります。理事長の今年一年をどのようにするかということも、お聞きしていると判断力というものを、入会当時から自分で勉強して身につけて、自分が理事長としてどういう判断をするのがよいのかということ、自分で考え、自信を持って、覚悟を決めて今年一年間取り組まれているということを改めて感じました。今年度も半分過ぎましたがけれども、私もこの理事長でよかったなと感じました。みなさんも一緒だと思いますが、J Cで学んだこと、あとは自分と違う考え方に素直に触れてみるということが一番力になっていくことだと思います。また新たな仲間が増えていく中でもそういったことを大事にして輪を広げていっていただきたいなと思いました。以上です。ありがとうございました。

## 間宮監事

---

みなさん、こんばんは。理事会でパソコンの電源を入れたら見たことない画面が出てきまして、動かなかったのが新谷監事のパソコンを一緒に見させていただきまして、不細工な感じになってしまいました。

話は変わりますが、監事ということで総評させていただきます。今日の理事会を見させていただいて感じたことを2点ほどお話しさせていただきます。まず、理事会の運営ですかね、今回が9回目ということで、年間17・18回理事会が開催されるので折り返しになってきたので、だいぶ慣れてこられたのかなと感じました。荒山理事が遅れて来られた時に、(議案の承認がなされてから)即座に定足数の確認というのが行われました。それは事務局も議長もわかっていたので。また、荒山理事も一言述べなきゃいけないというのがわかっていたし



た。逆にみんながそれぞれ意識できていたのでスムーズに移れたのかなと思いました。すごく良かったと思います。

あと1点は内容に関してなんですが、ホストの議案が連発で出てきたんですが、定例会に毎回拡大タイムがありました。毎回同じというものではないのですが、もう少し月を隔てる中で、違う内容でもいいのかと純粋に感じました。(4月の4LOM合同例会の講師の)矢口先輩ほどではなくてもまた誰か近くでいろんなことをしてこられたOBさんもいらっしゃるし、その方からJCの魅力を聞いた中で、みなさんが他の、拡大対象者に伝えることに繋がると思いますし、日本JCの方に来ていただいて、拡大活動に成功しているLOMの取り組みを知ることでもまた拡大に繋がるとかと思うので、いろんな拡大という活動の中でできることをしなければならないかと思うので、またいろんな手法を取り組んでいただけたらなと思いました。

あと、せっくなので、社会開発の活動のお話がたくさん出ていましたし、地域行事のこともたくさん出ていたのでそのお話をさせていただこうと思います。昔で言うと、委員会が6~8つありました。「社会開発系」「総務系」「研修系」あとは「環境系」という括りもありました。今日1階で「緑創会」という団体さんが理事会をしておられました。緑創会は環境系という括りの中でJCがずっと携わってきました。「環境ネットワーク委員会」や「緑ネットワーク21委員会」という名前で委員会があったのですが、地球環境に取り組んでいこうという話の中で、取り組みが始まって、JCが事務局を持つようになりました。緑創会さんも規模がどんどん縮小していったので、卒業されてからも近藤昌樹先輩が単独で持っていていただいているような状況です。財政を見ている方はご存じかもわかりませんが、緑創会さんからも事務局使用料としてお金をいただいていますので、是非ともまた協力していただけないかと思います。

あとは社発系の取り組みの中で「ほたるパーク&ウォーク」が出てきました。今年で14回目と書いてあったんですが、立ち上げたのはJCだと思っています。昔先輩が「ほたるサミット」というのをされました。その中で、市民・企業・行政という三者のネットワークが必要だというお話の中から、鳩の森公園にホテルが出た時に、たくさん飛んでいるんで見に来られた中で、ほたるですのでどうしても夜に駐車の問題や騒音の問題が出てきて、その中で、「守山の観光資源である、ほたるを守ろう」というのをどうにか活用できないかということで、立ち上がりました。こちら、会長は「びわこ豊穰の里」の方がされているのですが、JCメンバーが副実行委員長でずっとついていたりとか、室長や委員長クラスの方が部会というのをしていたりという流れがあります。近年流れが変わってきたんですが、昔は「ほたるパーク&ライド」。車を置いてバスに乗ろうということでした。今は「パーク&ウォーク」になりましたがいろいろと変遷をしてきている中で現在に至っています。また「地球市民の森」に関してもJCの歴代の理事長の先輩がずっと実行委員長をされてきたというのもありますし、「もりやま夏まつり」もこれまで行政主体でやっていたのが初めて民間団体になったときに実行委員長をされたのがOBの先輩で、宮川先輩や津田明先輩です。津田先輩が理事長をされた時に宮川先輩が専務理事をされましたので、宮川先輩が実行委員長をされたときに「助けるわ」と手を組んでされていました。その中で僕もさせていただいたんですが、「地域を根ざした活動をされているんだな」と思いました。社会開発事業がないのと、やはりJCの醍醐味は社会開発事業だとは思いますが、「ほたるパーク&ウォーク」等の活動は)社会開発事業のベースに100%なっていると思いますので、いろいろな会議に出ておられるとは思いますが、会議のうまい回し方をJCで学べば外部に出ても絶対うまく回せますので、社会開発事業をするための準備をしていると思って自信を持って学んでいただけたらなと思います。是非とも今のところはまだそういった事業は無いですが、やっている一つひとつのこと、理事会にしても委員会にしてもすべてが社会開発活動につながっていますので、その積み重ねだと思って、是非とも次の理事会では多くの仲間を迎えて、またみんなで社会開発事業ができたかなと思いますので、この一月みなさん頑張ってください。本日はお疲れさまでした。

事務局

5 月 16 日（火）執行部会資料

5 月 20 日（土）20:00～ 第 10 回執行部会

6 月 1 日（木）理事会資料

6 月 5（月）20：00～ 第 10 回理事会

24.閉会